

# 小田急電鉄初の鉄道ミュージアム 「ロマンスカーミュージアム」開業

ロマンスカーミュージアム館長 高橋 孝夫

## はじめに

「小田急線」は新宿を起点に箱根の玄関口である小田原までを結ぶ「小田原線」、湘南エリアに至る「江ノ島線」、多摩ニュータウンに至る「多摩線」の3路線、計120.5km（全70駅）からなり、通勤・通学や観光路線として多くのお客さまが利用しています。「小田急線」の代名詞である特急ロマンスカーは、戦後の映画館や喫茶店などで「ロマンスシート」と呼ばれた2人掛けの座席に似たシートを搭載した車両を「ロマンスカー」と呼んだことが由来だと言われており、当時の人々にとって、移動の時間にも旅の非日常感を味わえるシンボリックな存在でした。その「特急ロマンスカー」をテーマにした「ロマンスカーミュージアム」は『“子ども”も“大人”も楽しめる鉄道ミュージアム』をコンセプトに、2021年4月19日（月）に小田急線海老名駅隣接に開業しました。小田急線開業以来初となる屋内常設展示施設で、小田急線開業当時の車両や歴代ロマンスカー車両の展示のほか、沿線を忠実に再現したジオラマなどを通して歴史や沿線の魅力を後世に伝えていくとともに小田急に親しんでいただきたいという願いが込められています。

## 建設の経緯

小田急電鉄ではこれまで退役車両を喜多見・海老名に保存し、ファミリー鉄道展などの場で一般公開してきました。歴史的価値のある車両をいつでもご覧いただけるような施設を開設することは、お客さまに喜んでいただくとともに地域の皆さまとのコミュニケーション基盤の創出にも繋がるため、その実現に向けて10年前の2011年から本施設建設の検討がスタートしました。



「ロマンスカーミュージアム」（2021年4月）

企画、デザイン監修、運営はグループ企業のUDS株式会社が担当しました。各業界で活躍するパートナーの協力を得ながら実現した多彩な空間演出やコンテンツ、インタラクティブな展示などを通して、見るだけではないさまざまな過ごし方・楽しみ方を提供する複合型ミュージアムを目指しました。建物は2階建てで、外観は検車庫をイメージしたシンプルなデザインで、施設内も色を抑えてロマンスカーをはじめとする展示物やコンテンツが引き立つような空間に仕上げられています。

## ロマンスカーミュージアムのロゴマーク

ロゴマークは、ロマンスカー（Romancecar）と鉄道（Railway）の頭文字である「R」を横に寝かせた形です。トンネル（左の半円）を通過する列車（右の三角形）の表現でもあり、積み木のようにシンプルな形状を組み合わせることで、子どもたちにも親しみやすく、インスピレーションをかき立てる存在でありたいとの願いを込めています。



## ROMANCECAR MUSEUM

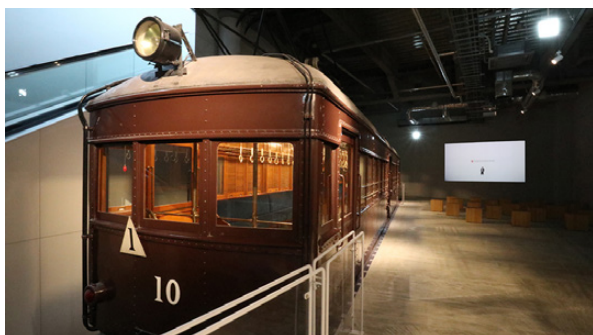
ロマンスカーミュージアムのロゴマーク



「ロマンスカーギャラリー」

### 1階エリア

小田急線開業当時の車両「モハ1」とともに、小田急電鉄の始まりと歴史、数々の時代を駆け抜けたロマンスカーの誕生と進化の軌跡をたどる「ヒストリーシアター」では、小田急電鉄の3つの行動指針である「真摯・進取・融和」を、軽快なタップダンスとジャズのセッションで演出・表現した、約4分30秒のショートムービー「ロマンスカーは走る」をご覧ください。



「ヒストリーシアター」

検車庫の中を探検しているかのような雰囲気のある展示ゾーンに、時代を彩ったロマンスカー5車種10両を展示した「ロマンスカーギャラリー」では、至近距離でロマンスカーを鑑賞し、歴代車両を見比べることができます。なお、SE（3000形）およびNSE（3100形）の一部と、HiSE（10000形）とRSE（20000形）は車両内にも入ることができ、懐かしい思い出に浸ったり、旅の夢を膨らませたりすることができます。

ロマンスカーの歴史や小田急電鉄の歩みを伝える展示室「ロマンスカーアカデミアⅠ」では、小田急電鉄の歴史をまとめた企業年表や、小田急電鉄の一大事業である複々線化事業を学べる模型を展示しています。講演やワークショップ、学校団体向けの学習スペースとしての活用も想定しています。



「ロマンスカーアカデミアⅠ」

### 2階エリア

新宿から箱根に至るまでの沿線の多様さを表す約190㎡の巨大なジオラマが広がる「ジオラマパーク」では、背景のパノラマスクリーンに流れる映像と、照明や音響が連動したダイナミックな演出の中、刻々と移り変わる街並みの中をロマンスカー10車種と通勤車両5車種が織り成す2種類の演出を交互にお楽しみいただけます。



「ジオラマパーク」

キッズスケールの7つの車両を立体的に組み合わせた子どものための空間「キッズロマンカーパーク」では、さまざまな年齢の子どもたちが楽しめる遊びを各車両内にちりばめています。「こうさくしつ」では自分だけのロマンスカーを工作して、紙でできた小さなジオラマの中を走らせることができます。



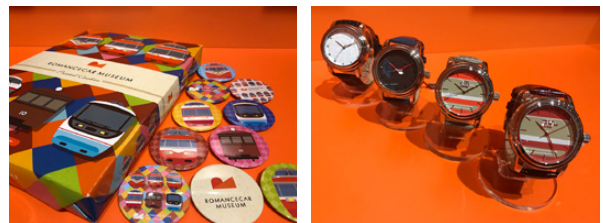
「キッズロマンカーパーク」

「ロマンスカーアカデミアⅡ」では、壁にかざした手の動きに合わせて線路が引かれ、家や商業施設、学校などのまちが形づくられていく「インタラクティブアート“電車とつくるまち”」と、LSE（7000形）の実際の運転機器を再活用した本格的な運転士体験ができる「ロマンスカーシミュレーター“LSE（7000形）”」の2つのコンテンツを用意しました。鉄道会社の仕事に造詣を深めることができます。



「ロマンスカーアカデミアⅡ」

ミュージアムショップには、小田急電鉄のオフィシャルグッズショップ「TRAINS（トレインズ）」が outlet しています。オリジナルの鉄道模型やおもちゃ、雑貨、お菓子など、多彩な小田急グッズが並びます。一部の商品はロマンスカーミュージアムでしか手に入らない限定品となっており、お土産にもピッタリです。



「ミュージアムショップ TRAINS」

エントランス横には、ロマンスカーを愛する人たちが集う場となれば、との想いを込めたカフェ「ROMANCECAR MUSEUM CLUBHOUSE」を併設しました。ロマンスカーミュージアムにご来館の方はもちろん、カフェ利用だけの方でも気軽にご利用いただけます。かつてロマンスカー車内で提供されていたものを再現した「日東紅茶とクールケーキのセット」や、沿線の食材を使用した「沿線コッペ」など、ここでしか味わえないメニューをご用意しています。



「ROMANCECAR MUSEUM CLUBHOUSE」

### 3階エリア（屋上）

隣接する海老名駅や、海老名電車基地を行き交う電車を一望できる「ステーションビューテラス」では、海老名駅を通過・停車するロマンスカーの時刻表を掲出しており、実際に走行するさまざまな種類のロマンスカーを待つことができます。運が良ければ目の前で車両の洗車をする様子見られることもあります。



「ステーションビューテラス」

### 営業概要

□営業時間10:00～18:00(最終入館17:30)

※公式ホームページからの事前予約制（予約枠に空きがある場合に限り、当日入館可）

□入館料：大人（中学生以上）900円

子ども（小学生）400円

幼児（3歳以上）100円

□休館日：毎月第2・第4火曜日

（変更の場合もあります）

□ROMANCECAR MUSEUM CLUBHOUSE

営業時間 10:00～19:00 (L.O 18:30)

### おわりに

ロマンスカーミュージアムは、退役車両を活用し、常設の場で小田急の歴史を後世に伝えていくとともに、小田急に関連したさまざまなコンテンツを楽しんでいただくことにより、小田急ファンの拡大を目指して、建設、開業に至りました。

開業して半年を迎えようとしています。鉄道ファンの方やお子さまはもちろんのこと幅広い層の方々にご来館していただき、楽しんでいただいております。今後もロマンスカーの魅力を通じて鉄道ミュージアムの概念に捉われず、新たな発想で様々な企画にチャレンジして参ります。また、小田急沿線の中核駅「海老名駅」隣に誕生した本施設は、地域コミュニティの核となる施設を目指し、まちの賑わいの創出、地域活性に繋げていきたいと思っております。